

# 平成31年度上半期岡山県広域水道企業団水道用水供給事業報告書

## 第1 事業の概況

### 1 概況

#### (1) 議会議決事項

上半期では該当なし

#### (2) 行政官庁認可事項

申請年月日	申請先	件名	認（許）可年月日	認（許）可番号
令和元年8月27日	総務省	令和元年度上水道事業債協議	令和元年9月30日	総財営第18号

#### (3) 職員に関する事項（令和元年9月30日現在）

区分	事務職員	技術職員	計
損益勘定 所属職員	7 <sup>人</sup>	26 <sup>人</sup>	33 <sup>人</sup>
資本勘定 所属職員	0 <sup>人</sup>	6 <sup>人</sup>	6 <sup>人</sup>

※上記のほか、損益勘定所属職員として、岡山県から派遣職員1人、岡山市から派遣職員1人がある。

#### (4) 料金その他供給条件の設定及び変更に関する事項

上半期では該当なし

### 2 工事の概況

#### (1) 広域化施設整備事業

上半期では該当なし

#### (2) 改良事業

上半期では該当なし

### 3 業 務

#### (1) 水道用水供給事業月別水量及び料金状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
基本水量 (m <sup>3</sup> )	6,549,000	6,767,300	6,549,000	6,767,300	6,767,300	6,549,000	39,948,900
(日 量)	(218,300)	(218,300)	(218,300)	(218,300)	(218,300)	(218,300)	
調定水量 <sup>(※注)</sup> (m <sup>3</sup> )	2,881,941	3,025,204	2,911,878	3,011,488	3,036,329	2,910,244	17,777,084
基本料金 (円)	222,666,000	230,088,200	222,666,000	230,088,200	230,088,200	222,666,000	1,358,262,600
使用料金 (円)	135,451,227	142,184,588	136,858,266	141,539,936	142,707,463	136,781,468	835,522,948
消費税及び 地方消費税 (円)	28,649,159	29,781,601	28,761,715	29,730,032	29,823,426	28,755,582	175,501,515
合計 (円)	386,766,386	402,054,389	388,285,981	401,358,168	402,619,089	388,203,050	2,369,287,063

(※注) 調定水量とは、料金徴収の対象となった水量をいう。

#### (2) 水道水質共同検査月別実施状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
検体数	140	125	135	149	162	154	865
検査受託料 (円)	2,577,500	4,405,800	7,241,100	10,336,400	6,690,900	5,476,900	36,728,600
消費税及び 地方消費税 (円)	206,200	352,464	579,288	826,912	535,272	438,152	2,938,288
合計 (円)	2,783,700	4,758,264	7,820,388	11,163,312	7,226,172	5,915,052	39,666,888

### 4 会 計

#### (1) 重要契約の要旨

契約年月日	契約金額(円)	契約内容	契約の相手方
平成29年11月6日	374,306,400	岡山浄水場中央監視制御設備更新事業	横河ソリューションサービス (株) 関西支社
令和元年7月22日	138,490,000	岡山浄水場低圧配電盤設備更新工事その1	琴浦電気(株)
令和元年7月19日	136,070,000	岡山浄水場計装設備更新工事	ミツワ電設(株)
令和元年7月19日	87,450,000	柵原追塩場ほか盤設備更新工事	ミツワ電設(株)

#### (2) 企業債及び一時借入金の概況

##### ア 企業債

借入先	前年度末残高	借入高	償還高	9月末残高
財 務 省	14,497,126,075	0	609,924,680	13,887,201,395
地方公共団体金融機構	11,569,357,477	0	766,919,465	10,802,438,012
中 国 銀 行	0	0	0	0
ト マ ト 銀 行	46,296,599	0	23,076,182	23,220,417
計	26,112,780,151	0	1,399,920,327	24,712,859,824

##### イ 一時借入金

一時借入金 該当事項無し

## 第2 経理の状況

### 1 水道用水供給事業予算収支状況（予算額及び予算執行額は消費税及び地方消費税を含んだ額）

#### (1) 収益的収支状況

科 目	予 算 額	執 行 額	執 行 率	備 考
1 用水供給事業収益	6,904,436,000	2,933,501,521	42.5%	(うち仮受消費税及び地方消費税 151,643,727円)
1) 営業収益	4,875,180,000	2,016,997,969	41.4%	(うち仮受消費税及び地方消費税 149,406,219円)
① 給水収益	4,792,267,000	1,981,084,013	41.3%	(うち仮受消費税及び地方消費税 146,745,933円)
② 受託工事収益	3,778,000	0	-	
② その他の営業収益	79,135,000	35,913,956	45.4%	(うち仮受消費税及び地方消費税 2,660,286円)
2) 営業外収益	2,029,256,000	916,503,552	45.2%	(うち仮受消費税及び地方消費税 2,237,508円)
① 受取利息及び配当金	123,000	53,574	43.6%	
② 他会計補助金	455,353,000	127,943,124	28.1%	(うち仮受消費税及び地方消費税 2,223,036円)
③ 長期前受金戻入	1,573,720,000	786,860,000	50.0%	
④ 雑収益	60,000	1,646,854	2744.8%	(うち仮受消費税及び地方消費税 14,472円)
2 用水供給事業費用	7,612,622,000	3,322,163,390	43.6%	(うち仮払消費税及び地方消費税 19,788,914円)
1) 営業費用	6,893,887,000	3,041,661,854	44.1%	(うち仮払消費税及び地方消費税 19,788,914円)
① 原水及び浄水費	1,279,344,600	208,974,275	16.3%	(うち仮払消費税及び地方消費税 10,907,509円)
② 配水費	479,303,000	140,812,733	29.4%	(うち仮払消費税及び地方消費税 8,102,038円)
③ 総係費	496,879,400	403,653,605	81.2%	(うち仮払消費税及び地方消費税 496,029円)
④ 受託工事費	3,580,000	0	-	
⑤ 減価償却費	4,551,491,000	2,275,745,500	50.0%	
⑥ 資産減耗費	45,517,000	0	-	
⑦ その他の営業費用	37,772,000	12,475,741	33.0%	(うち仮受消費税及び地方消費税 283,338円)
2) 営業外費用	678,967,000	280,471,342	41.3%	
① 支払利息及び企業債取扱諸費	550,289,000	280,471,342	51.0%	
② 消費税及び地方消費税	128,678,000	0	-	
3) 特別損失	39,768,000	30,194	0.1%	
① 固定資産売却損	122,000	30,194	24.7%	
② その他の特別損失	39,646,000	0	-	

#### (2) 資本的収支状況

科 目	予 算 額	執 行 額	執 行 率	備 考
1 資本的収入	1,945,304,000	182,095,400	9.4%	(うち仮受消費税及び地方消費税 2,104円)
1) 企業債	951,000,000	0	0.0%	
2) 出資金	409,528,000	99,711,000	24.3%	
3) 負担金	201,476,000	0	0.0%	
4) 補助金	218,587,000	0	0.0%	
5) 借入金	164,712,000	82,356,000	50.0%	
6) 固定資産売却代金	1,000	28,400	2840.0%	(うち仮受消費税及び地方消費税 2,104円)
2 資本的支出	4,590,499,000	1,429,385,746	31.1%	(うち仮払消費税及び地方消費税 520,581円)
1) 建設改良費	1,770,685,000	29,465,419	1.7%	(うち仮払消費税及び地方消費税 520,581円)
2) 企業債償還金	2,817,802,000	1,399,920,327	49.7%	
3) 県補助金返還金	2,012,000	0	0.0%	

2 平成31年度岡山県広域水道企業団水道用水供給事業損益計算書  
(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

		(単位：円)	
1	営業収益		
	(1) 給水収益	1,834,338,080	
	(2) その他の営業収益	33,253,670	1,867,591,750
2	営業費用		
	(1) 原水及び浄水費	198,066,766	
	(2) 配水費	132,710,695	
	(3) 総係費	403,157,576	
	(4) 減価償却費	2,275,745,500	
	(5) その他の営業費用	12,192,403	3,021,872,940
	営業損失		1,154,281,190
3	営業外収益		
	(1) 受取利息及び配当金	53,574	
	(2) 他会計補助金	125,720,088	
	(3) 長期前受金戻入	786,860,000	
	(4) 雑収益	1,632,382	914,266,044
4	営業外費用		
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	280,471,342	633,794,702
	経常損失		520,486,488
5	特別損失		
	(1) 固定資産売却損	30,194	△ 30,194
	当期純損失		520,516,682
	前年度繰越欠損金		21,986,300,728
	当期末処理欠損金		22,506,817,410

## 3 岡山県広域水道企業団水道用水供給事業貸借対照表

(令和元年9月30日現在)

(単位：円)

		資産の部		
1	固定資産			
	(1) 有形固定資産	94,648,393,909		
	減価償却累計額	<u>45,082,328,135</u>	49,566,065,774	
	(2) 無形固定資産		64,954,150,730	
	(3) 投資その他の資産		<u>37,590</u>	
	固定資産合計			<u>114,520,254,094</u>
2	流動資産			
	(1) 現金預金		3,189,762,950	
	(2) 未収金		1,238,740	
	(3) 前払金		361,830,771	
	(4) 仮払消費税及び地方消費税		20,309,495	
	(5) その他流動資産		<u>244,700</u>	
	流動資産合計			<u>3,573,386,656</u>
	資産合計			<u>118,093,640,750</u>
		負債の部		
3	固定負債			
	(1) 企業債		23,295,039,042	
	(2) 他会計借入金		5,780,872,905	
	(3) 引当金		<u>438,099,126</u>	
	固定負債合計			<u>29,514,011,073</u>
4	流動負債			
	(1) 企業債		1,417,820,782	
	(2) 引当金		26,219,717	
	(3) 仮受消費税及び地方消費税		151,645,831	
	(4) 預り金		<u>10,661,192</u>	
	流動負債合計			<u>1,606,347,522</u>
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金		68,677,996,304	
	長期前受金収益化累計額		△ 27,633,219,729	
	長期前受金合計		41,044,776,575	
	(2) 建設仮勘定長期前受金		<u>10,515,083</u>	
	繰延収益合計			<u>41,055,291,658</u>
	負債合計			<u>72,175,650,253</u>
		資本の部		
6	資本金			
	(1) 繰入資本金		66,953,107,517	
	資本金合計			66,953,107,517
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金		1,471,700,390	
	(2) 欠損金		<u>22,506,817,410</u>	
	剰余金合計			△ 21,035,117,020
	資本合計			<u>45,917,990,497</u>
	負債資本合計			<u>118,093,640,750</u>

### 第3 平成30年度の決算状況

本年度の財政状況は、損益勘定では、用水供給事業収益が 6,526,446 千円で前年度と比較して 24,328 千円 (0.4%) の減少となった。これは、給水収益が使用水量の減等により減少したこと、他会計補助金が減少したことが主な要因である。

用水供給事業費用は 7,534,777 千円で前年度と比較して 277,100 千円 (3.8%) の増額となった。これは、設備更新等に伴い資産減耗費が増となったこと等が主な要因である。この結果、収支差し引き 1,008,332 千円の純損失となった。

資本勘定では、収入額 1,691,307 千円 (税込) に対し、支出額 4,092,332 千円 (税込) となり、2,401,025 千円の不足額を生じたが過年度分損益勘定留保資金等で補填した。